



平成 26 年度
推 薦 入 試
学生募集要項

横浜国立大学理工学部

平成 25 年 11 月

目次

推薦入試日程の概要	1
横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
1. 募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 出願手続	4
4. 出願にあたっての注意事項	5
5. 入学検定料	6
6. 入学者選抜方法	7
7. 試験期日及び試験場	8
8. 合格発表	8
9. 入学手続	8
10. 不合格となった場合に備えて	9
11. 障害等のある入学志願者の事前相談について	9
12. 個人情報の取り扱いについて	10
13. 入学料および授業料の免除・徴収猶予制度について	11
14. 学生の居住施設について	13
交通案内図	15
キャンパス案内図	16

<添付書類>

この要項には、下記の本学所定の書類等が添付されています。

1. 出願書類等送付内訳書
2. 志願票
3. 受験票・写真票
4. 推薦書・推薦書記入上の注意
5. 入学確約書
6. 「振替払込受付証明書（お客さま用）」貼付用紙
7. 入学検定料払込取扱票（検定料 17,000 円）
8. 返信用封筒（速達長形 3 号） 2 通
9. 住所・氏名記入用紙（シール）
10. 出願書類送付用封筒（書留速達角形 2 号）

推薦入試日程の概要

出願期間：平成26年1月23日（木）～29日（水）



試験期日：平成26年2月6日（木）



合格発表：平成26年2月8日（土）13時頃



入学手続：平成26年2月10日（月）～17日（月）



入学式：平成26年4月3日（木）

横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

横浜国立大学では、社会に貢献できる意欲的な学生を求めます

真の実力を得たい！

社会においてリーダー的存在になる真の実力を得たい人

洞察力を磨きたい！

科学的探求心を尊重し、チャレンジ精神に基づく研究・創造の場を通して、深い知識と洞察力を獲得したい人

世界の舞台で活躍したい！

国際性溢れる環境の中で、外国人学生と共にコミュニケーション能力を高め、世界に発信・飛躍したい人

高度な専門知識で社会に貢献したい！

大学院に進学し、さらに高度な専門的知識を身につけ、専門的な職種や職業で社会に貢献したい人

自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語りつつ、柔軟な発想と総合的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、社会の中核となってグローバルな共生社会に貢献したいと思う人を求めています。

【横浜国立大学学士課程の教育目標】

横浜国立大学の4つの精神 - 実践性・先進性・開放性・国際性 - を踏まえて、本学は大学全体としての学士教育の更なる充実に向けた教育目標を定め、学内の各組織はそれぞれが担うべき学士課程教育の目標および育成人材像を明確にして、体系的な教育を実施します。

- (1) 学芸・諸科学に関する豊かな知的資産を学び、それらを活かす高度な実践的能力を備え、社会の中核となって活躍できる人材を育成する。
- (2) 研究成果に基づく教育を通して、豊かな知性・感性を養うとともに諸課題を解決に導く思考力や判断力を磨く。
- (3) 社会・文化・自然の多様性を尊重しつつ国や社会を超えて多様な人々と交流し、共生社会の実現を図る高いコミュニケーション能力を養う。
- (4) 高い倫理観を養いつつ積極的に課題を探求し、解決する強い意欲や責任感を高める。

本学の詳細な教育目標・方針については、本学 WEB サイトに掲載の『「学士力」を磨く YNU initiative』をご覧ください。

理工学部の入学者受入方針

理工学部では、理工学の学びを通して実践的「知」を身につけたい意欲的な学生を求めます。

自然科学の真理探究や独創的なもの作りを通して、自ら成長・発展しようとする人
何ごとにも旺盛な好奇心を持ち、失敗をおそれない、チャレンジ精神にあふれている人
新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的な視野を磨こうとする人
胸がときめくようなアイデアを確かな知識と技術で実現しようとする人
我が国が世界から信頼される存在となるよう、自分の仕事を通じて貢献したいと願う人

【理工学部の教育目標】

地球規模の環境問題など社会の要請を把握し、自然科学の真理を追究し、産業を発展させ、輝ける未来を切り開くために研究者・技術者の果たすべき役割はより大きくなっています。実践的学術の国際拠点を目指す本学・理工学部では、自らの専門分野における専門能力と高い倫理性を持ち、広く科学技術に目を向ける進取の精神に富む人材育成を目的とします。

学科及び教育プログラムの入学者受入方針

化学・生命系学科

自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな 21 世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人を求めます。

向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人を求めます。

<化学教育プログラム>

化学の基本知識を中心に据え、あらゆる自然科学の知識を活用して物質の世界の真理を原子や分子レベルから探求する科学研究者、および最先端化学とその利用に関わる科学技術者を目指す人

<化学応用教育プログラム>

化学の基本知識を応用し、物理を活用して、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる技術者・研究者を目指す人

<バイオ教育プログラム>

生物学、化学、物理学に立脚した現代生物学の方法を通して生命を理解し、その成果を食料問題や生命・医療などのグローバルセキュリティ課題の解決に応用できる技術者・研究者を目指す人

建築都市・環境系学科

建築から、都市、地域生態系、海洋、地球、宇宙へと広がる人々が暮らし活動する空間とその環境に興味を抱き、創造性、自発性、探究心、行動力にあふれた人を求めます。

<地球生態学教育プログラム>

身近な自然や、生物多様性、地球温暖化などに興味を持っていて、以下のような進路をめざす人を求めます。

- ・ 科学者や技術者、社会のリーダーとして地域の自然環境問題の科学的な解決を目指そうとする人
- ・ 研究者として環境科学や関連する自然科学を発展させたり、高等学校理科教員として自然についての知識を次世代に伝えたいと考えている人

平成 26 年度横浜国立大学理工学部 推薦入試学生募集要項

1. 募集人員

学科	教育プログラム	募集人員
化学・生命系学科	化学教育プログラム・化学応用教育プログラム	22 名
	バイオ教育プログラム	3 名
建築都市・環境系学科	地球生態学教育プログラム	10 名

(注1) 出願できる学科・教育プログラムは1つのみです。

(注2) 化学・生命系学科の化学教育プログラム・化学応用教育プログラムの学生募集は一緒に行います。教育プログラムの決定は、第2学年進級時に本人の希望と科目履修状況等に基づいて行います。

2. 出願資格

次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者

【基礎資格】

出身学校長の推薦を受けた者で、平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月までに高等学校若しくは中等教育学校を卒業または卒業見込みの者で、かつ、平成 26 年度大学入試センター試験において学科の指定する教科・科目のすべてを受験した者

【要件】

次の(1)から(4)のすべてに該当する者

- (1) 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者
- (2) 調査書の全体の評定平均値が 4.0 以上の者
- (3) 高等学校若しくは中等教育学校で理科を 2 科目以上履修した者
- (4) 合格した場合には入学の確約ができる者

3. 出願手続

(1) 出願期間

平成 26 年 1 月 23 日(木)～平成 26 年 1 月 29 日(水)まで必着

(注) 上記出願期間内に必着するように郵送してください。ただし、締切日〔1 月 29 日(水)〕を過ぎて到着した出願書類のうち、平成 26 年 1 月 28 日(火)までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。

(2) 出願方法

志願者の在籍する学校長が出願書類を取り揃え、本学所定の出願書類送付用封筒を使用して、書留速達で郵送してください。(出願方法は郵送に限る)

なお、一つの学校から複数名出願する場合は、志願者ごとに出願書類を郵送してください。

(3) 出願書類等

<p>志願票 (裏面:受験を要する大学入試センター試験教科・科目申告表)</p>	<p>本学所定の用紙に必要事項を記入し、「平成 26 センター試験成績請求票^{推薦}国公立推薦入試用」を所定欄に貼り付けてください。志願票裏面の「受験を要する大学入試センター試験教科・科目申告表」により、指定の教科・科目を受験している教科・科目を確認のうえ、確認欄に 印を記入することにより、申告してください。</p>
<p>受験票・写真票</p>	<p>本学所定用紙に必要事項を記入し、出願日前 3 か月以内に撮影した上半身脱帽・正面向きで同一の写真(縦 4 cm×横 3 cm)を受験票・写真票の所定欄に貼付してください。 なお、写真の裏面に氏名を記入のうえ貼付してください。</p>
<p>調査書</p>	<p>文部科学省の定めた様式により出身学校長が作成し、厳封してください。 被災その他の事情により、調査書が得られない場合には、出願期間前に理工学系大学院等入試係までご相談ください。</p>
<p>推薦書</p>	<p>本学所定用紙により出身学校長が作成し、厳封してください。</p>
<p>入学確約書</p>	<p>本学所定用紙に必要事項を記入してください。</p>
<p>入学検定料</p>	<p>払込金額 17,000 円 払込方法等の詳細については、「5.入学検定料」を参照してください。 注:本学では、災害等で被災した受験生の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は https://www.ynu.ac.jp/exam/index.html を確認してください。</p>
<p>返信用封筒(2通)</p>	<p>本学所定の返信用封筒(長形3号)に360円切手を貼り付け、志願者宛(1通)と在籍学校長宛(1通)を提出してください。</p>
<p>住所・氏名記入用紙 (シール)</p>	<p>入学手続書類等の送付に使用するので、本学所定の用紙に正確に記入してください。</p>

出願書類を受理した者に対して、「受験票」を郵送します。2月3日(月)までに到着しない場合は、理工学系大学院等入試係までお問い合わせください。

4. 出願にあたっての注意事項

- (1) 国公立大学の推薦入試に出願できるのは1つの大学、学部に限られています。
- (2) 志願票及び受験票・写真票の該当事項は で囲み、 印の箇所は記入しないでください。
- (3) 志願票の「連絡先」の欄には、大学からの通知が確実に届く宛先(日本国内に限る)を明記してください。なお、電話番号が呼出しの場合は、「呼出」と明記してください。また、出願後「連絡先」及び電話番号を変更した場合は、受験番号及び氏名を明記して理工学系大学院等入試係に届け出てください。
- (4) 出願書類等で厳封するよう指示があるものは、必ず出身学校長にて厳封された状態で提出してください。厳封されていない場合には受理しません。
- (5) 出願後の書類内容及び志望先の変更は認めません。出願にあたっては、提出書類に記入漏れや誤りがないか十分注意してください。
- (6) 出願書類等に不備がある場合は受理しません。なお、受理された出願書類等は一切返却しません。
- (7) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した際、入学許可を取り消すことがあります。

5. 入学検定料

(1) 入学検定料の払込について

払込金額：17,000 円

払込期間：出願期間に間に合うように払込んでください。

払込場所：郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口（ATM は使用不可）

なお、土曜、日曜・休日は払い込みができませんので注意してください。

払込方法：

ア. 本要項に同封の「払込取扱票」を使用し、各票のご依頼人は、志願者本人の氏名を記入してください。

イ. 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（お客さま用）」を郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る際には、必ず受付局の日附印を確認してください。

ウ. 払込時に別途必要な払込手数料は志願者本人の負担となります。

(2) 入学検定料の返還について

払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

入学検定料の返還請求ができるもの

ア. 入学検定料を払い込んだが横浜国立大学理工学部推薦入試に出願しなかった場合

イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

ウ. 出願書類等の不備等により出願が受理されなかった場合

エ. 出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

返還する入学検定料の金額

志願者の申し出により、上記（2） ア、イ、ウについては 17,000 円を、エ については 13,000 円を返還します。

返還請求の方法

上記（2） のア、イに該当する場合は、下記（ 1）a～d の 4 項目を明記した入学検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず「振替払込受付証明書（お客さま用）」を添付して、下記（ 2）送付先へ速やかに郵送してください。

また、ウの場合は出願書類返却時に、エの場合は該当事項の通知時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

1 入学検定料返還請求願（様式は問わない）に記載する項目

a. 返還請求の理由 b. 氏名（ふりがな） c. 現住所 d. 連絡先電話番号

2 送付先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

横浜国立大学理工学系大学院等入試係

6. 入学者選抜方法

(1) 入学者の選抜は、平成 26 年度大学入試センター試験の成績・推薦書・調査書及び面接によって行います。

出願にあたっては、以下に指定する「大学入試センター試験で課す教科・科目」を受験していることを、志願票裏面の「受験を要する大学入試センター試験教科・科目申告表」により必ず確認のうえ申告してください。なお、出願受付後に指定する教科・科目を1科目でも受験していないことが判明した場合には、面接試験を受験できません。

大学入試センター試験で課す教科・科目は、次のとおりです。(5教科7科目)

- ・ 国語 (「国語」)
- ・ 地理歴史 (「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」)
- ・ 公民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理、政治・経済」)
- ・ 数学 (「数学・数学A」)
(「数学・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」) から 1
- ・ 理科 化学・生命系学科
(「物理」, 「化学」, 「生物」) から 2
建築都市・環境系学科
(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」) から 2
- ・ 外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」) から 1

(注1) 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(情報A・B・C等)を履修した者は該当しません。

(注2) 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。

(注3) 各科目の得点は素点を利用します。なお、「英語」についてはリスニングテストを含み、筆記試験とリスニングテストの合計250点満点を以下のとおり200点満点に換算します。
200点満点 (筆記試験 200 + リスニングテスト 50) × 0.8

教科名	国語	地歴又は公民	数学	理科	外国語	配点合計
配点	200	100	200	200	200	900

(注4) 志願票裏面の「受験を要する大学入試センター試験教科・科目申告表」により指定する教科・科目を全て受験済みであると申告したにもかかわらず、本学が大学入試センターからの成績提供を受けた結果、指定教科・科目を1科目でも受験しなかったことが新たに判明した場合、その志願者は無資格者となります。この場合、推薦入試の受験はできません。この場合の入学検定料の返還については、P6、5(2)を参照してください。

(2) 面接の内容

学科	教育プログラム	面接内容
化学・生命系学科	化学教育プログラム・ 化学応用教育プログラム	複数の面接員による個人面接で、もの作りや自然現象に関する興味、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送るうえでの適性などを評価します。
	バイオ教育プログラム	複数の面接員による個人面接で、自然や生命現象に関する興味、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送るうえでの適性などを評価します。
建築都市・環境系学科	地球生態学教育プログラム	複数の面接員による個人面接で、自然や環境に関する興味、積極的に取り組む姿勢、健全な大学生活を送るうえでの適性などを評価します。

7. 試験期日及び試験場

平成 26 年 2 月 6 日（木） 横浜国立大学理工学部で面接を実施します。集合時間及び集合場所の詳細は受験票に同封します。

注意

試験当日は、本学で交付する「推薦入試受験票」及び「大学入試センター試験受験票」の両受験票を必ず持参してください。

8. 合格発表

平成 26 年 2 月 8 日（土）13 時ごろ

本学ホームページ（<http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>）に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続書類等を郵送します。

また、在籍学校長には合否結果を通知します。

ホームページでの掲載期間は、合格発表日から概ね 4 日間程度とします。

携帯電話には対応していません。

電話による合否結果の問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続

合格通知を受けた者は、郵送（書留速達）により以下の期間内（必着）に入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期間

平成 26 年 2 月 10 日（月）～2 月 17 日（月）（最終日 17 時まで**に必着**）

合格者には、合格通知書とともに入学手続書類等を送付します。入学手続の詳細は、同封の「入学手続について」で確認してください。なお、入学手続には「大学入試センター試験受験票」が必要です。

【入学手続時に必要な費用】

【入学後に必要な費用】

入学料 282,000 円〔現行〕 授業料 半期分 267,900 円〔現行〕(年額 535,800 円)

(注1) 入学料及び授業料は、改定される場合があります。

(注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

(注3) 入学手続完了者が事情により入学辞退した場合、いかなる理由があっても入学料は返還できません。

(2) 入学手続に関する留意事項

合格者が、期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取扱い、これ以降の入学手続を認めません。

合格者が入学手続を完了したときは、本学及び他の国公立大学・学部の一般入試を受験しても合格者とはなりません。

合格者が特別の事情により入学を辞退する場合は、推薦した学校長から「推薦入学辞退願」(任意様式)を平成 26 年 2 月 19 日（水）までに横浜国立大学長に提出し、その許可を得た場合に限り入学辞退が認められます。この手続きをとらずに、出願済みの他の国公立大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。

入学又は入学辞退のいずれの手続も行わないままとすることのないように注意してください。

10. 不合格となった場合に備えて

不合格となった場合に備えて、国公立大学の一般入試を受験しようとする者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「中期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つの合計三つの大学・学部に出願することができます。（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）その際、大学入試センター試験の指定教科・科目の受験等志望する各大学・学部の出願要件に留意してください。

本学に出願する場合は、「平成 26 年度一般入試学生募集要項」により出願してください。

11. 障害等のある入学志願者の事前相談について

下表に該当する者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることが起こり得ますので、出願する前に必ず以下連絡先に事前に相談してください。

また、出願受付締切後の不慮の事故による負傷者についても、受験及び修学上で特別な配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもの のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不 可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用に よっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活におけ る基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学 的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状 態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

【申請方法及び連絡先】

(1) 申請は、様式例を参考に申請書を作成し、診断書または身体障害者手帳（写）、その他参
考資料を添えて申請してください。

(2) 申請内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、出願する前のできるだけ早い時
期に相談してください。

(3) 申請・連絡先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

横浜国立大学理工学系大学院等入試係

電話番号 045-339-3821/3822

【参考】事前相談申請書様式例

(様式例) A4 判縦

平成 年 月 日

横浜国立大学長 殿

ふり がな
氏 名

生年月日

住 所〒

電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学部・学科・教育プログラム・出願する入試名
2. 障害等の種類、程度
3. 受験に際して希望する配慮事項
4. 入学後の修学に際して希望する配慮事項
5. その他

(添付書類) 診断書または身体障害者手帳(写)、その他参考資料

12. 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、合格者への連絡業務(奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付)、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究にも利用することがあります。

調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

- (3) 上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。

受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

13. 入学料および授業料の免除・徴収猶予制度について

(1) 入学料免除

制度

入学する者のうち、次の 対象者に該当する者の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額または半額が免除される制度です。

対象者

入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という）が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合等で、入学料の納入が著しく困難であると認められる者

（注1）学資負担者は、同一世帯内であること。

（注2）風水害等の災害とは、公的機関発行の「罹(被)災証明書」等がとれるもの。

申請方法

申請書類の請求により、申請書類を取り寄せ、申請期間に提出してください。

申請書類の請求

申請を希望する者は、申請期間に間に合うように、学生支援課窓口または郵便で申請書類を請求するか、または学生支援課ウェブサイトより書式をダウンロードしてください。

（申請には、所得等の事実を証明する書類等の添付書類が必要となります。）

申請期間 平成26年3月13日（木）～平成26年3月17日（月）

（土日祝除く9:00～12:45 / 13:45～17:00）

学務・国際部学生支援課の窓口へ直接、申請書類を持参してください。

(2) 入学料徴収猶予

制度

入学する者のうち、次の 対象者のア.またはイ.のいずれかに該当する者の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収が猶予される制度です。（入学料を免除する制度ではありません。）

対象者

ア. 経済的理由によって、納入期間に入学料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる者

イ. 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という）が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合で、納入期間に入学料の納入が著しく困難であると認められる者

（注1）学資負担者は、同一世帯内であること。

（注2）風水害等の被害とは、公的機関発行の「罹(被)災証明書」等がとれるもの。

申請方法

申請書類の請求により、申請書類を取り寄せ、申請期間に提出してください。

申請書類の請求

申請を希望する者は、申請期間に間に合うように、学生支援課窓口または郵便で申請書類を請求するか、または学生支援課ウェブサイトより書式をダウンロードしてください。

（申請には、所得等の事実を証明する書類等の添付書類が必要となります。）

申請期間 平成26年3月13日（木）～平成26年3月17日（月）

（土日祝除く9:00～12:45 / 13:45～17:00）

学務・国際部学生支援課の窓口へ直接、申請書類を持参してください。

(3) 授業料の免除・徴収猶予

制度

ア. 免除： 次の 対象者のア.またはイ.のいずれかに該当する者の申請に基づき選考のうえ、学期ごとの授業料の全額または半額が免除される制度です。

イ. 徴収猶予： 次の 対象者のア.またはイ.のいずれかに該当する者の申請に基づき選考のうえ、学期ごとの授業料の徴収が猶予される制度です。（授業料を免除する制度ではありません。）

対象者

- ア. 経済的理由によって、授業料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
 イ. 入学前1年以内(在學生は授業料納期前6ヶ月以内)において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という)が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合等で、授業料の納入が著しく困難であると認められる者
 (注1)学資負担者は、同一世帯内であること。

(注2)風水害等の被害とは、公的機関発行の「罹(被)災証明書」等がとれるもの。

申請方法

申請書類の請求により、申請書類を取り寄せ、申請期間に提出してください。

申請書類の請求

申請を希望する者は、申請期間に間に合うように、学生支援課窓口または郵便で申請書類を請求するか、または学生支援課ウェブサイトより書式をダウンロードしてください。

(申請には、所得等の事実を証明する書類等の添付書類が必要となります。申請期間は合格発表後から4月上旬を予定しています。)

申請期間

入学手続期間から平成26年4月初旬を予定しています。詳しい日程は申請書類を参照ください。

入学料 / 授業料免除・徴収猶予申請書類請求先 および 問い合わせ先			
住 所	〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8 横浜国立大学 学務・国際部学生支援課 経済支援係 授業料免除等申請書類請求宛		
T E L	0 4 5 - 3 3 9 - 3 1 1 3	M A I L	gakusei.keizai@ynu.ac.jp
窓口時間	平日 9:00~12:45 / 13:45~17:00		
W E B サイト	http://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp		
郵送による申請書類の請求について			
送付物 (折りたたみ可)	<p>送り状(様式自由。下記の事項が記載されたものを各自作成してください。)</p> <p>(1)氏名</p> <p>(2)学部名 入学予定の学部名を記入してください。</p> <p>(3)受験番号</p> <p>(4)住所</p> <p>(5)電話番号 携帯電話でも可。連絡のつく番号にしてください。</p> <p>(6)日本人用 または 留学生用</p> <p>日本人用と留学生用で送る書類が異なります。</p> <p>外国人学生でビザが「永住者」「定住者」の者は「日本人用」になります。</p> <p>返信用封筒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返信先の郵便番号・住所・氏名 を明記 ・角型2号封筒(24cm × 33cm)使用のこと ・200円分の切手(速達希望の場合は、470円分)を貼付すること <p>「送り状」と「返信用封筒」を「封筒(サイズ自由)」に同封し、申請書類請求先住所まで郵送してください。届き次第、「返信用封筒」に「申請書類一式」を入れて返送いたします。</p>		

14. 学生の居住施設について

本学には、常盤台キャンパスに隣接した日本人学生・外国人留学生混住の峰沢国際交流会館、横浜から約20分の弘明寺地区にある外国人留学生のための留学生会館、同じく弘明寺地区にあり民間会社が運営する日本人学生・外国人留学生混住の大岡インターナショナルレジデンスの3つの学生寮があります。

(1) 学生寮について

峰沢国際交流会館【日本人学生・外国人留学生用】

キャンパス至近の自然環境に恵まれた地に、峰沢国際交流会館があります。この会館は、日本人学生と外国人留学生とが起居を共にし、その体験的な国際交流を通じて相互理解を深め、国際化の進展に対応した主体的な人間形成を図ることを目的として建設された学生寮で、日本人学生222名、外国人留学生111名が居住できる施設です。

会館には、居住棟A棟(男子：1～3階94室、女子：4階27室)、B棟(男子寮、5階建、140室)、C棟(女子寮、3階建、72室)と共用棟(3階建)があります。

居住棟	居室	全室個室(12㎡)、ユニット型洗面・トイレ、エアコン、ベッド、机、椅子、ロッカー、呼出しチャイム、電話端子、テレビ共聴アンテナ端子
	共通施設	補食室(流し台、コンロ、食器棚、瞬間湯沸器、電子レンジ、冷蔵庫)、シャワー室、郵便受け、自動販売機
共用棟	1階	スポーツ交流室、男子洗濯室、女子洗濯室
	2階	事務室、ホール
	3階	交流会議室、ラウンジ、ホール

ア 入居資格：原則として平成26年4月に入学する学部及び大学院の日本人学生及び外国人留学生です。

ただし、すでに本会館に2年間(留学生は1年間)入居した者は除きます。

イ 入居期間：本会館に入居できる期間は、2年(留学生は1年)以内です。

ウ 入居者の選考・決定：地理的状況(通学所要時間2時間以上)及び経済的状況が本学入居基準を満たす者の中から抽選により選考します。

また、入居者の決定発表は、試験区分ごとの合格発表後に行います。

ただし、留学生については外国人留学生用の募集要項を参照してください。

エ 入居者の経費負担：寄宿料等は、次のとおりです。寄宿料・共益費の金額は、改定する場合があります。

また、入居者が使用する電気、水道、ガス等の料金を別途負担いただきます。

	寄宿料	共益費	合計
単身室	5,700円	4,000円	9,700円

留学生会館【外国人留学生用】

1981年に開館した外国人留学生専用の寮です。大学への通学は1時間ほどかかりますが、最寄り駅や商店街に近く、横浜の中心にもアクセスしやすい立地です。

会館は3階建てで、単身室128室、夫婦室10室、家族室10室があります。

居住棟	居室	全室個室、ユニットバス・トイレ、ベッド、机、椅子、洋服ダンス、エアコン、本棚、台所、デスクライト
	共用部分	談話室、会議室、和室、学習室、図書室、洗濯室、飲み物自販機コーナー、公衆電話
	管理部分	館長・主事室、事務室、管理人室(管理人常駐)

ア 入居資格：平成26年4月に本学の学部・大学院に入学及び在籍する外国人留学生

ただし、本会館に1年間入居した者は除きます。

イ 入居期間：本会館に入居できる期間は、半年または1年以内です。

ウ 入居者の選考・決定：応募者多数の場合は抽選を行います。

エ 入居者の経費負担：寄宿料等は、次のとおりです。寄宿料・共益費の金額は、改定する場合があります。

また、入居者が使用する電気料金を別途負担いただきます。

	寄宿料	共益費	合計
家族室	11,900円	15,400円	27,300円
夫婦室	9,500円	14,000円	23,500円
単身室	5,900円	8,900円	14,800円

の学生寮申請について

募集要項配付：平成26年1月6日(月)～2月14日(金)

学務・国際部 学生支援課窓口(学生センター2階)または郵送で配付します。

外国人でビザが「永住者」「定住者」は「日本人用」です。

外国人留学生用は学生支援課ウェブサイトからダウンロードが可能です。

(<http://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>) 配付期間のみ

《募集要項の郵便請求》(日本人学生)

郵送を希望する場合は、封筒の表に「峰沢国際交流会館入居者募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒 [郵便番号・住所・氏名を明記し、140円切手を貼付した角2(240mm×332mm)] 及び本人の氏名、住所、電話番号、メールアドレスを記載したメモを同封して、以下の担当宛に請求してください。

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8

横浜国立大学 学務・国際部学生支援課 学生支援係【学生寮担当】宛

TEL : 045-339-3190

申請期間：平成26年2月12日(水)～2月20日(木)

募集要項に基づいて、上記の期間内に手続きしてください。

日本人学生の出願はすべて郵送とし、最終日17時必着です。

ただし、2月19日(水)までの発信局消印のある速達郵便に限り、期間後到着した場合でも受理します。

外国人留学生は窓口受付または郵送により手続きしてください。

大岡インターナショナルレジデンス【日本人学生・外国人留学生用】

2010年9月、弘明寺地区に入居者同士の国際交流を活性化をテーマとして開館した新しい寮です。

レジデンスは6階建てで、日本人学生・外国人留学生の居室は原則単身室のみで252室あります。

なお、他の寮と違い運営は民間会社が行っており、空き状況の確認、入居申請や賃貸借契約などは学生と民間会社の間で直接やりとりしていただくことになります。

【募集要項の配付・申請期間】居室の空き状況に応じて募集を行います。

募集の有無や募集要項の配付、申請期間については以下のホームページでお確かめください。

(<http://www.int-residence.jp/e-guide/>)

【問い合わせ先】大岡インターナショナルレジデンス管理事務所 0120-948-790

居住棟	居室	全室個室(12.5㎡)、洗面台・トイレ、ベッド、デスク、イス、照明、冷蔵庫、エアコン、オートロック
	共通施設	日勤管理人、エレベーター、コインランドリー、各階シャワールーム、1階コンビニ、カルチャーホール、各階キッチンラウンジ、エントランスオートロック

ア 入居資格：本学に在籍する学生(4月入学者の場合、原則入学許可書をもって本学の学生と見なします)

イ 入居期間：2年(外国人留学生のみ更新可)

ウ 入居者の選考・決定：応募者多数の場合は抽選を行うことがあります。

エ 入居者の経費負担：寄宿料等は、次のとおりです。 寄宿料・管理費等の金額は、改定する場合があります。

入居時一時金	寄宿料	管理費	合計
52,500円	33,000円	8,000円	41,000円

(2) 下宿・アパート等について

民間の下宿・アパート等を希望している者(峰沢国際交流会館等の入居選考から外れた者を含む)のために、「横浜国立大学生協同組合」が環境・通学距離等を考慮して、学生生活に適した物件を紹介しています。資料の請求方法等については、横浜国立大学生協同組合に直接問い合わせてください。

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-10 横浜国立大学生協同組合

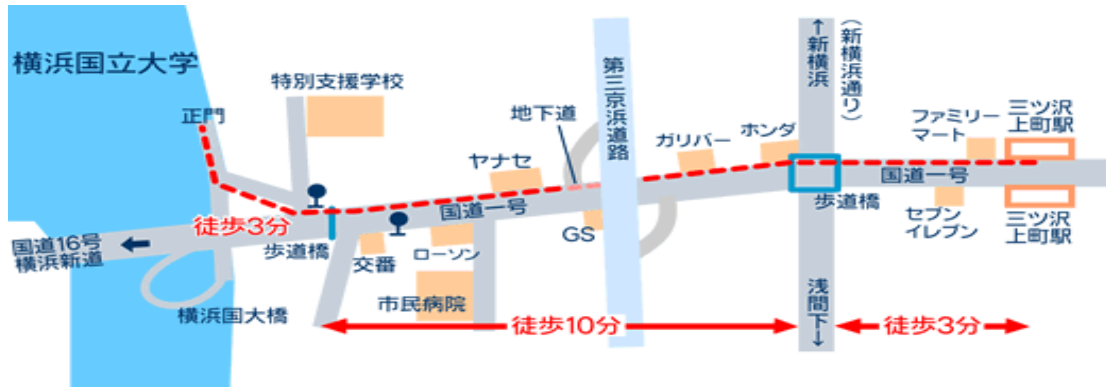
TEL : 045-331-5217

ホームページ : <http://www.ynu-coop.jp/> (横浜国立大学生協ホームページ)

交通案内図

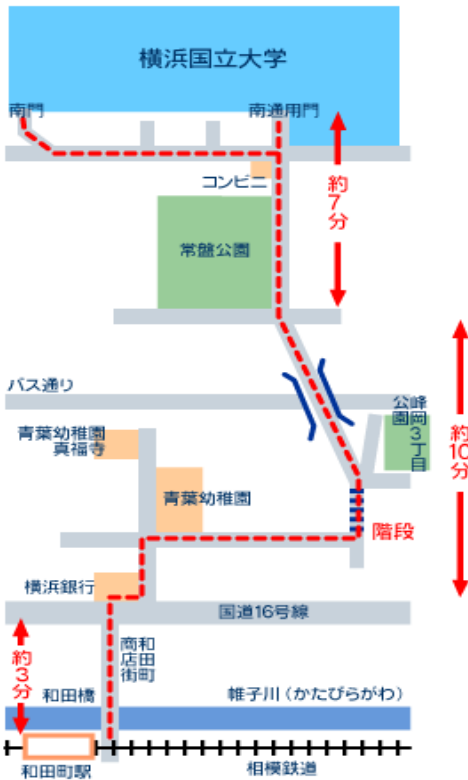
横浜市営地下鉄線

【三ツ沢上町駅】(改札を出て右側2番出口) → 正門へ



：相模鉄道線

【和田町駅】 → 南門、南通用門へ



：バス

【横浜駅西口】 → 正門、大学構内バス停留所(平日のみ)



横浜市営バス	【下車停留所】
番乗口 循環外回り 202 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」
番乗口 【急行】 329 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」
番乗口 循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」	又は
相鉄バス	「国大北(平日のみ)」
番乗口 浜 10 系統「横浜駅西口行」	「国大西(平日のみ)」
番乗口 浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」	
神奈中バス	
番乗口 01 系統「中山駅行」	「岡沢町」

「国大北」・「国大西」は、大学構内のバス停留所です。(平日のみ利用可能)

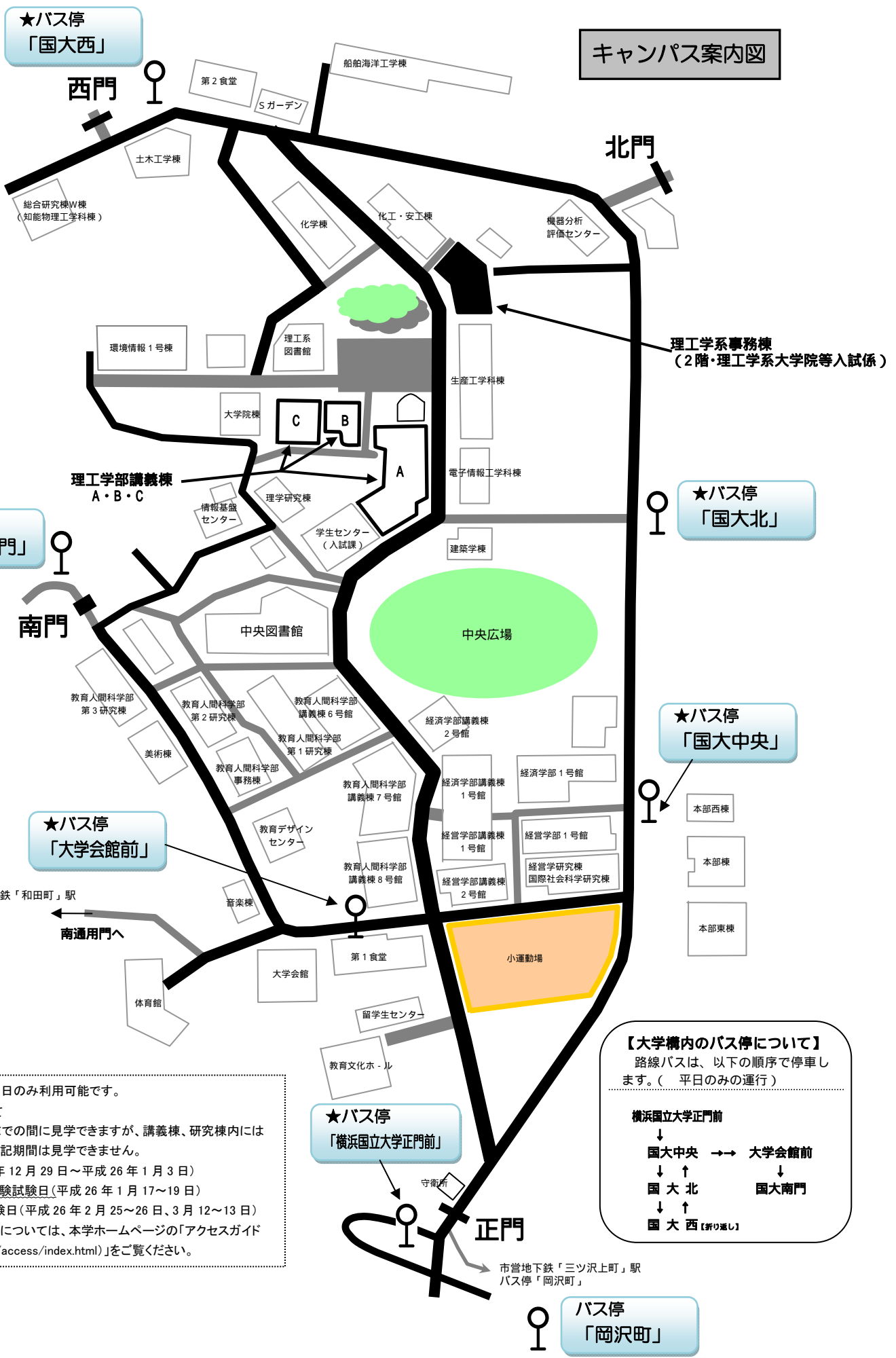
注 1 各バスの時刻等は、横浜市交通局、相鉄バスまたは神奈中バスのホームページ等により各自で確認してください。

注 2 横浜市営バス「201 系統・329 系統」及び相鉄バス「浜 10 系統」は、平日のみ大学構内への乗り入れを行います。

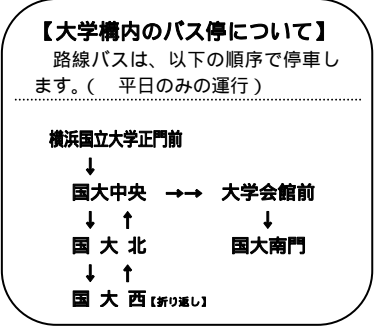
注 3 上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜休日は運行しない路線もありますので注意してください。

注 4 バスは、道路混雑等で予定どおり運行できないことがありますので、試験当日は 又は による徒歩を奨励します。

キャンパス案内図



※★印のバス停は、平日のみ利用可能です。
 ※構内の見学について
 構内は9時～17時までの間に見学できますが、講義棟、研究棟内には入れません。また、下記期間は見学できません。
 ・年末年始(平成25年12月29日～平成26年1月3日)
 ・大学入試センター試験試験日(平成26年1月17～19日)
 ・個別学力検査等試験日(平成26年2月25～26日、3月12～13日)
 ※アクセス方法の詳細については、本学ホームページの「アクセスガイド」(<http://www.ynu.ac.jp/access/index.html>)をご覧ください。



市営地下鉄「三ツ沢上町」駅
 バス停「岡沢町」

不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供について

公共交通機関の乱れや自然災害の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のWEBサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や入学者選抜方法を変更した上で、入学者の選抜を行うことがあります。

- ・ 横浜国立大学 ホームページ <http://www.ynu.ac.jp/>
- ・ 横浜国立大学 携帯電話サイト <http://daigaku.jc.jp/ynu/>
- ・ 横浜国立大学 携帯電話対応ホームページ <http://www.ynu.ac.jp/i/>



<お問い合わせ先>

横浜国立大学理工学系大学院等入試係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

〔窓口取扱時間〕 8:30～12:45, 13:45～17:00 (平日)

土日・祝日及び年末年始(12/29～1/3)は休業です。

TEL : 045-339-3821, 3822

FAX : 045-339-3819

E-mail : ses.nyushi@ynu.ac.jp

(注) 電話でのお問い合わせの際は、上記窓口取扱時間内に
原則として志願者本人が問い合わせてください。